

SEKONIC

EXPOSURE METER

フラッシュメイト L-308BII

使用説明書

株式会社 セコニック



本 社 〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14
TEL 03-3978-2366


[修理・サービス部門]
株式会社セコニック 品質管理室
〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14
TEL 03-3978-2330 FAX 03-3922-2144


保証書付

お買い上げありがとうございます。
この使用説明書をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。この使用説明書には、保証書が添付されておりますのでお読みになった後も、大切に保存してください。

■ 安全にお使いいただくために


製品の安全性については十分配慮しておりますが、このページ記載の  警告・ 注意をよくお読みになった上で正しくお使いください。下記のマークは万一にも障害や損害を与えることのないように、製品を使用していただくための警告表示・注意表示です。

 **警告** このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の利用者等が死亡または、重傷を負う可能性があることを示す警告マークです。


 **注意** このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の利用者等が軽傷または、中程度の傷害を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示す注意マークです。

注意 操作する上での注意や制限です。
誤った操作をしないために、必ずお読みください。

参考 操作の参考になることや、関連した機能などについての情報です。
お読みになることをおすすめします。

 **警告**

- 取り外しの出来る白色平板、シンクロターミナルキャップは乳幼児の手の届かない場所に置いてください。
誤飲により窒息等の危険があります。
- 乳幼児が誤ってストラップやシンクロコードを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。
窒息する危険性があります。
- 電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガや周囲を汚染する原因となります。

 **注意**

- 濡れた手、水気のある所でのシンクロコードの着脱はおやめください。
フラッシュ側の高い電圧が漏れ感電の危険があります。

— メモ —

保証書

このたびは、セコニック露出計をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この製品は弊社が心をこめ厳重な品質管理のもとに製造したものでございますが、万一保証期間内に故障が生じた場合には、本保証書を現品に添えてお買い上げの販売店または最寄りの弊社サービスセンターにご持参くだされば、無料にて修理・調整させていただきます。
(保証除外事項は裏面に記載されております)

露出計機種 L-308BII No.

お買い上げ日	年	月	日
保証期間	年	月	日
(お買い上げ日より1年間)			

ご住所

ご氏名

株式会社 セコニック

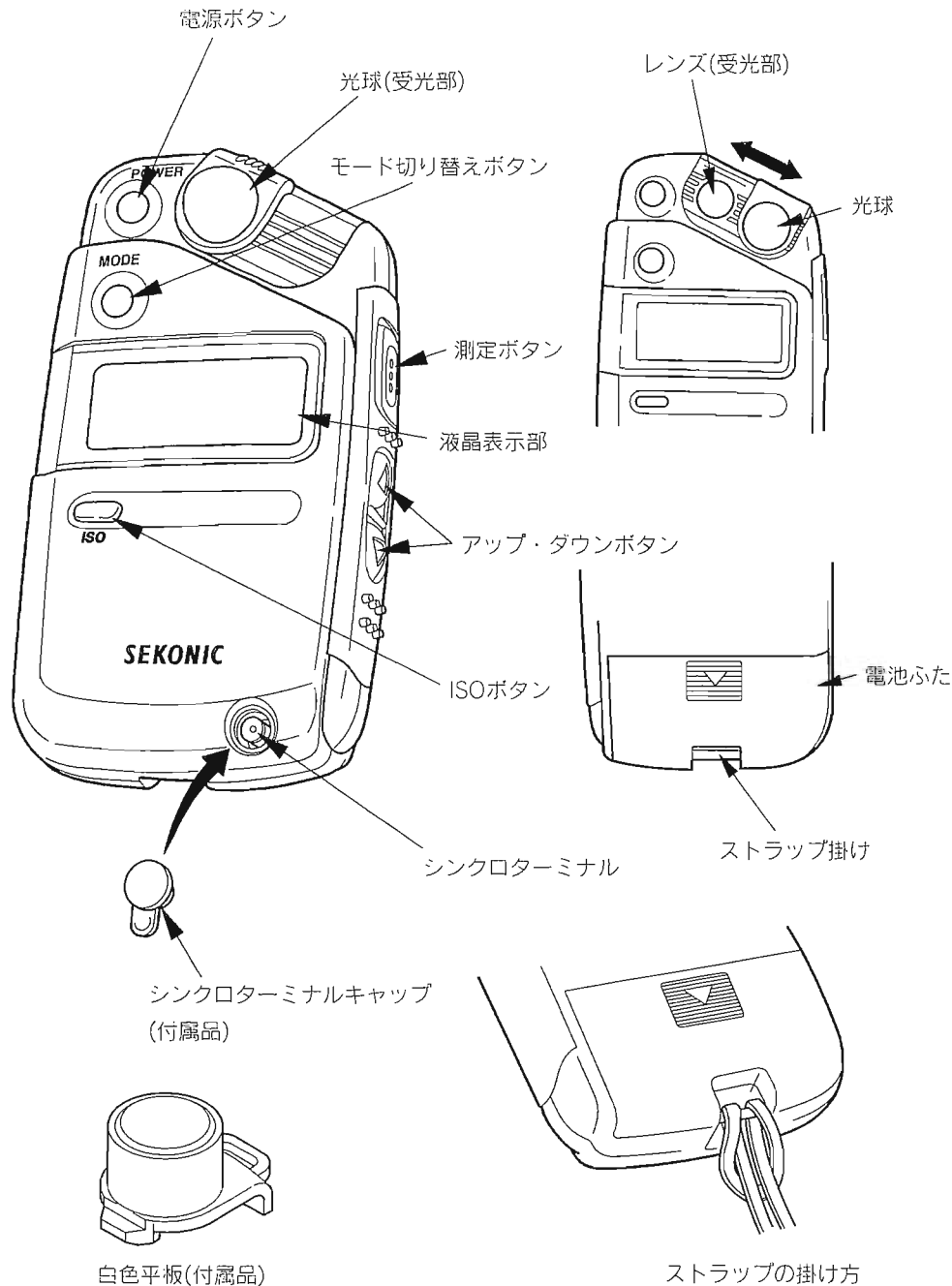
〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14 TEL 03-3978-2366

写真機材 : 〒178-8686 東京都練馬区大泉学園町7-24-14
グループ TEL03-3978-2366 FAX03-3922-2144

販売店名

安全にお使いいただくために	i
目次	ii
1. 各部の名称	1
2. 表示の説明	2
2-1 液晶表示	2
3. モード設定と各部操作	3
3-1 入射光式と反射光式の切り替え方	3
3-2 白色平板の取り付け方	3
3-3 白色平板の取り外し方	3
4. 受光方式	4
4-1 入射光式測定	4
4-2 反射光式測定	4
5. 測定の準備	5
5-1 電池の入れ方	5
5-2 電池のチェック	5
5-3 自動電源OFF機能(オートOFF機能)	5
5-4 測定モードの設定	5
5-5 フィルム感度(ISO)の設定	6
5-6 シャッター速度(T)の設定	6
5-7 シネコマ数(f/s)の設定	6
6. 定常光の測定	7
6-1 定常光測定モードの設定と測定	7
6-2 EV値(露出値)測定	7
7. フラッシュ光・コード接続測定	8
7-1 コード接続測定モードの設定と測定	8
8. フラッシュ光・コードレス測定	9
8-1 コードレス測定モードの設定と測定	9
9. 白色平板の使い方	10
9-1 照明コントラストの測定	10
9-2 簡易照度計としての使い方	10
10. 仕様	11
11. 使用上のご注意とお手入れについて	12
12. アフターサービスについて	13
保証規定	
保証書	

1. 各部の名称



[保証規定]

1. 使用説明書にそった正常な使用状態で、万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書を現品に添えてお買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご持参くだされば無料で修理・調整させていただきます。
2. つぎのような場合には保証期間内でも保証の対象とはなりません。
 - (1) 誤ったご使用またはお取扱ひ上の不注意により生じた故障、または損傷など
 - (2) 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障、または損傷など
 - (3) 弊社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解掃除などによる故障、または損傷
 - (4) 火災、地震、水害、公害、指定外の使用電池(電圧)およびその他の天災地変や落下、衝撃などによる故障または損傷
 - (5) 保証書のご提示がない場合
 - (6) 保証書にお買い上げ日、保証期間、販売店名などの記載の不備な場合あるいは字句を書換えられた場合
 - (7) ご使用後の内・外装面のキズ、部品や付属品の紛失による修復交換
 - (8) 各部点検、精密検査、分解掃除等を特別にご依頼された場合
 - (9) 本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失など)
 - (10) お買い上げ店または弊社サービスセンターにご持参いただくに際しての諸費用またはお買い上げ店と弊社間の運賃諸掛り
3. ご注意
 - (1) 本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - (2) 本保証書の表示について、ご不明の点は弊社サービスセンターにお問合わせください。
 - (3) 保証書をお受取りの際は、販売店名および購入年月日などが記入されているかどうかをご確認ください。万一記入もれがありました場合には、ただちにお買い上げ店へお申し出ください。
 - (4) 保証書の再発行はいたしませんので大切に保存してください。
 - (5) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

12. アフターサービスについて

* 弊社の製品には一定の期間内無料修理をお引受けする保証書があります。記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●無料保証期間などについて

1. 無料保証期間はご購入日より1年間です。
2. 保証書にお買上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
3. 無料保証期間内でも有料修理となる場合もありますので、保証書の記載事項をお確かめください。
4. 保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

●補修用部品の保有期間などについて

1. 補修用性能部品は、製造中止後7年間を目安に保有しております。したがって、本期間を過ぎますと修理をお引受けできないことがあります。
2. 修理完了品には、弊社の修理納品書が発行されますのでお確かめください。
3. 修理可能期間内でも浸冠水、強度のショック、その他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われるものにつきましては修理不可能となる場合があります。

●修理ご依頼にあたって

1. 修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部位検査をはじめ品質的、性能的に必要なと認められるすべてのところを、検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご注意ください。
2. 修理を依頼されたものの中には、単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、(+)(-)の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。

●お問い合わせ先について

本製品の保証、修理、使い方などのお問い合わせは、弊社営業部門または東京サービスセンターにご相談ください。

万一、製造上の不備で生じた不都合は現品をもって補償させていただきます。それ以外の責は負いかねます。

2. 表示の説明

2-1 液晶表示

①測定モード表示

定常光測定モード

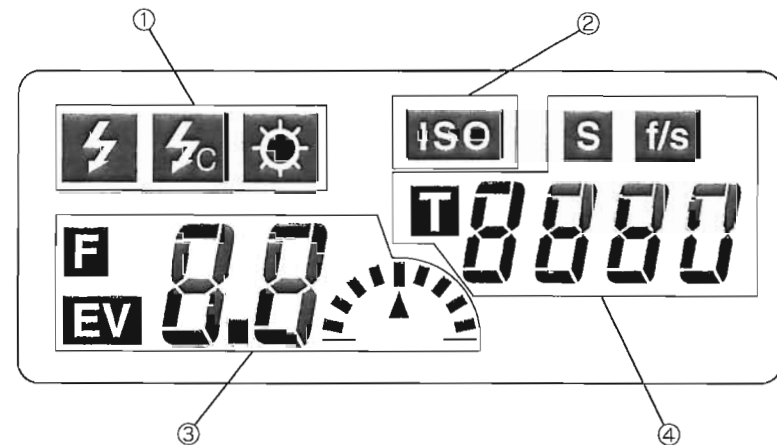
コードレス測定モード

コード接続測定モードが表示されます。

モードマークは → → → の順に変わります。

② ISO ISO表示 P6参照

ISOボタンを押して **ISO** が表示されます。



③ 絞り値/E V値/バッテリーチェック等の表示

「b.c」電池容量(ドット で表示)P5参照

F 絞り値(数字とドット で表示)

EV E V値(数字と で表示)P7参照

E.u 測定範囲外アンダー

E.o 測定範囲外オーバー

④ シャッター速度/シネコマ数/フィルム

感度表示 P6参照

T シャッター速度

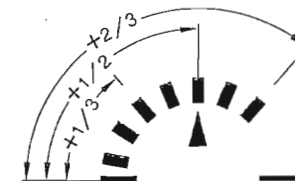
S シャッター速度秒単位

f/s シネコマ数の表示

ISOボタンを押しますとフィルム感度が表示されます。

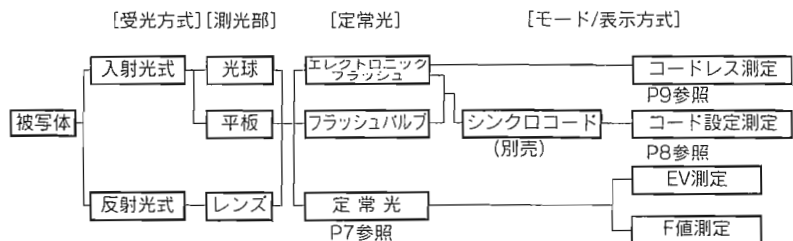
ドット部の説明

ドット部の表示は1段(1絞り又は1E V)を0.1段刻みで9段階表示します。



3. モード設定と各部操作

この露出計は、入射光式測定と反射光式測定兼用で、かつフラッシュ光(エレクトロニクスフラッシュ、フラッシュバルブ)と定常光(太陽、電灯)が測定でき、それらはモード切り替えによって下記の様に選択することができます。



3-1 入射光式と反射光式の切り替え方

光球はスライドさせ a、b それぞれのクリック位置で止めてください。(図1)(図2)

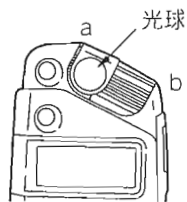


図1 入射光式

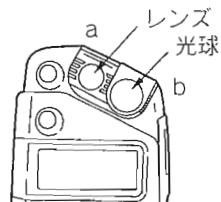


図2 反射光式

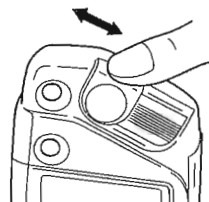
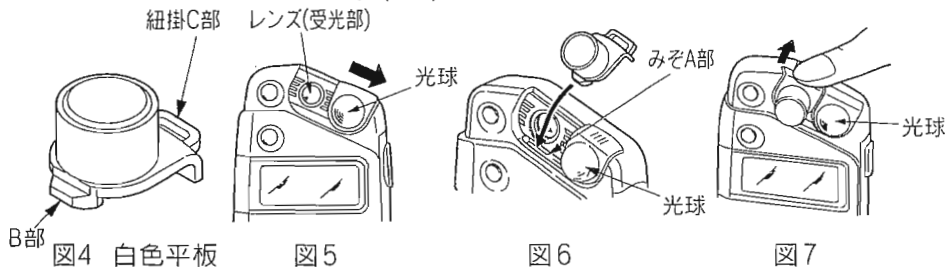


図3

注意 ● 光球の移動は図3のように指で押えて動かしてください。

3-2 白色平板の取り付け方

- ① 光球を反射光測定の場合と同様に右にスライドさせます。(図5)
- ② 白色平板(図4)のB部を、受光部のみぞA部に斜めに差込み(図6)、次に紐掛けC部を押してはめ込みます。(図7)



3-3 白色平板の取り外し方

取り付け方法と逆の順序で外します。白色平板の紐掛けC部を起こすようにして外してください。

注意 ● 間違った取り付け方、取り外し方をしますと破損の原因になります。正しく取り扱ってください。

11. 使用上のご注意とお手入れについて

- 注意**
- 落下または急激な衝撃は絶対にさけてください。故障の原因になります。
 - 高温または多湿な場所には保管しないでください。故障の原因になります。
 - 急激な温度変化による湿気に注意してください。結露する場合があります。故障や誤動作の原因になります。
 - 長い間、使用しない時は電池を抜いておいて下さい。

お手入れについて

- 精度に影響を与えるおそれがありますので、光球、レンズ、白色平板にはホコリ、ゴミ、キズが付かないようにしてください。
- 本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)は、絶対に使用しないでください。

10. 仕様

形式	● フラッシュ光及び定常光用デジタル露出計
受光方式	● 入射光式及び反射光式
受光部	● 入射光 光球及び平板 ● 反射光 レンズ(受光角40度)
受光素子	● シリコンフォトダイオード
測定方式	● 定常光 シャッター速度優先測定 ● フラッシュ光 シンクロコードを用いて測定 シンクロコード無しで測定
測定範囲 (ISO 100)	● 定常光 E V 0 ~ E V 19.9 ● フラッシュ光 F 1.4 ~ F 90 + 0.9 絞り
繰返し精度	±0.1 E V 以内
校正定数	● 入射光式 光球 C = 340 平板 C = 250 ● 反射光式 K = 12.5
表示範囲	● フィルム感度 ISO 3 ~ 8000 (1/3ステップ) ● シャッター速度 定常光 60 ~ 1/8000 秒 (1ステップ) シネコマ数 (f/s) 8、12、16、18、24、 25、30、32、64、128 (開角度180度) フラッシュ光 1 ~ 1/500 秒 (1ステップ) 他 1/75、1/80、1/90、1/100 秒 ● 絞り値 0.5 ~ 90 + 0.9 絞り (0.1ステップ) ● E V 値 -5 ~ 26.2
その他の機能	● 測定範囲外 E.u(アンダー)、E.o(オーバー)警告表示 ● 電池容量表示機能 ● 自動電源OFF機能
使用電池	● 単3形乾電池1本(アルカリ、マンガン乾電池のいずれか)
使用温度範囲	● 0℃ ~ 40℃
保存温度範囲	● -20℃ ~ 60℃
大きさ	● 約63 (幅) × 110 (高さ) × 22 (厚さ) mm
質量	● 約80 g (電池別)
標準付属品	● ソフトケース、ストラップ、白色平板、白色平板用ソフト ケース、シンクロターミナルキャップ、単3形乾電池

この使用説明書に記載の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

4. 受光方式

4-1 入射光式測定

被写体位置で光球をカメラのレンズに向けて測定します。(図8)

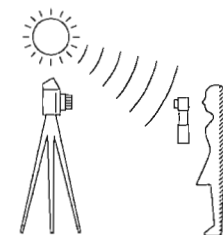


図8

注意

● 入射光式測定の時、白色平板を光球の右側に取り付けて測定しないでください。
白色平板が光をさえぎり正しい値が得られません。

4-2 反射光式測定

カメラ位置、またはカメラ方向から被写体の測定したい部分に露出計のレンズを正しく向けて測定します。(図9)

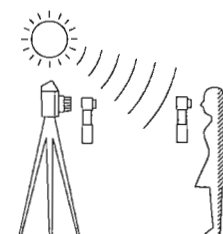


図9

注意

● カメラ位置で測定すると被写体全体の平均測定になります。
● 部分測定するときは、できるだけ被写体主要部に近づいて測定してください。
その場合露出計等の影が測定部に入らないように注意してください。

5. 測定の準備

5-1 電池の入れ方

単3形乾電池を用意します。
マンガン乾電池(R6P)、アルカリ乾電池(LR6)が使用できます。指定以外の電池は使用できません。

- ① 電池ふたを矢印の方向にひいて外します。
- ② 電池の十を電池ケース内の表示に合わせて一側から入れます。(図10)
- ③ 電池ふたを本体に合わせてスライドして閉めます。確実にかみ合ったことを確認してください。

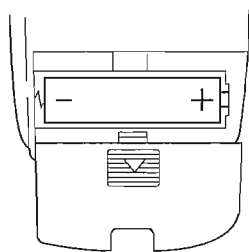


図10

5-2 電池のチェック

電源ボタンをONすると液晶表示部にb.c文字と電池容量を表すドットが表示され(図11)、その後測定モードに切り変わります。

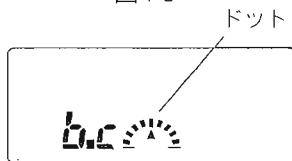


図11

注意

- 液晶表示部に異常な表示、または操作ボタンを押しても動作しないとき等は、電池を一度とりだし10秒以上経過してから入れ直してください。

参考

- バッテリーチェック表示は、電源ボタンを押しているあいだは表示し続けます。
- ドット表示が2~3となりましたら新しい電池を用意してください。
- 電池容量が不足すると文字「b.c」が点滅し表示が消えます、又は表示されません。新しい電池と交換してください。

5-3 自動電源OFF機能(オートOFF機能)

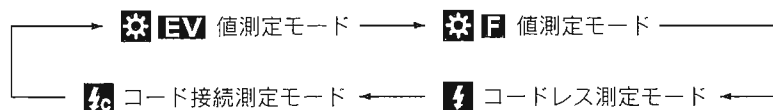
省電設計のため使用后(最後にいずれかのボタン操作後)約4分で自動的に全ての表示が消え電源はOFFとなります。

参考

- オートOFFの時は、モード設定値は記憶されており、電源ボタンをONすることで再表示されます。但し測定値は記憶されません。

5-4 測定モードの設定

モード切り替えボタンを押して測定モードを切り替えます。モードは下記の順に変わります。



9. 白色平板の使い方

9-1 照明コントラストの測定

- ① 白色平板を取り付けます。
- ② モード切り替えボタンを押して、使用する光源にあった測定モードに切り替えます。
- ③ 被写体位置で白色平板を主光源に向けて測定し、そのときの明るさを読み取ります。(この時、補助光源は消してください)
- ④ 次に被写体位置で白色平板を補助光源に向けて測定します。(この時、主光源は消してください)
- ⑤ 主光源と補助光源の測定値の差よりコントラスト比(照明比)を求めます。

測定値の差(段)	コントラスト比
1	2:1
1 1/2	3:1
2	4:1
3	8:1
4	16:1
5	32:1

(例) 主光源 F 16補助光源 F 8この場合2絞り差(2段差)ですのでコントラスト比は4:1となります。

参考

- 露出の決定は、主光源と補助光源を点灯し光球を使用して測定します。その時、光球はカメラの光軸に向けて測定します。

9-2 簡易照度計としての使い方

- ① 白色平板を取り付けます。
- ② EV値モードにし、ISOを100にセットします。
- ③ 白色平板を測定面に平行にし、光源側に向けて測定してください。
- ④ 測光表示されたEV値から下記の換算表で照度をお求めください。

☆ EV値 → lx(ルクス)換算表

EV整数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	
EV小数	0.0	2.5	5.0	10	20	40	80	160	320	640
	0.5	3.5	7.1	14	28	57	110	230	450	910

EV整数	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
EV小数	0.0	1300	2600	5100	10000	20000	41000	82000	160000	330000
	0.5	1800	3600	7200	14000	29000	58000	120000	230000	460000

(例) EV9 の場合
EV9.5 ≒ 1800lx (ルクス)です。

EV整数	9
EV小数	0.0
	0.5

8. フラッシュ光・コードレス測定

(シンクロコードを使用しないフラッシュ光の測定)

8-1 コードレス測定モードの設定と測定

- ① モード切り替えボタンを押してコードレス測定モードにします。(図24)
- ② フィルム感度とシャッター速度をセットします。

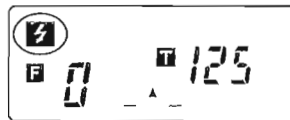


図24

注意 ● 使用するカメラにセットしたシャッター速度をセットしてください。

- ③ 測定ボタンを押して離しますと、**125**マークが点滅し測定待機状態になります。(図25) この状態は約90秒間継続されます。
- ④ フラッシュを発光しますと、フラッシュ光を受光し絞り値が表示されます。(図26) その後も待機状態が約90秒間継続されます。点滅中は、再測定が可能です。
- ⑤ 点滅が消えた時、改めて測定ボタンを押して直してください。

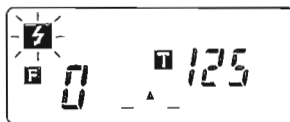


図25

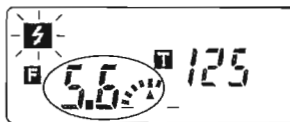


図26

注意 ● フラッシュバルブは使用できません。コード接続モードにし、シンクロコードを接続して測定してください。
● 測定後、シャッター速度を変えると測定値は消え、絞り値は0になります。

参考 ● 測定後、フィルム感度を変更しても測定値の演算が自動的に行われます。
● フラッシュを発光させても周囲光に比べてフラッシュの光量が少ない場合は、感知しない時があります。その時はコード接続測定モードにし、シンクロコードを接続して測定してください。
● 測定範囲を外れた場合は、E.u (アンダーエラー)、E.o (オーバーエラー)が表示されます。そのときは、光量の調整がシャッター速度を変えてください。

参考 ● 定常光モードでISOボタンを押したままモード切り替えボタンを押すとEV値表示とF値表示が交互に切り替えることができます。(図12)(図13) 測定後切り替えた時も測定値の演算も自動的に行われます。

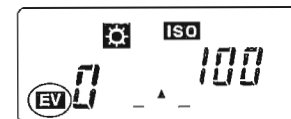


図12

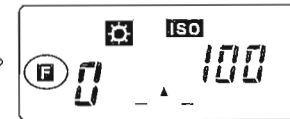


図13

5-5 フィルム感度(ISO)の設定

- ① ISOボタンを押すとフィルム感度値が表示されます。(図14)
- ② ISOボタンを押したまま、アップ・ダウンボタンで、使用するフィルムの感度を設定します。アップ側を押すと高感度になり、ダウン側を押すと低感度になります。アップ・ダウンボタンを1秒以上押し続けると連続して変わります。

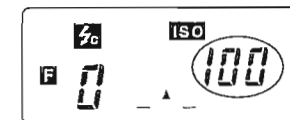


図14

参考 ● フィルム感度の設定は測定後でも行えます。

5-6 シャッター速度(T)の設定

アップ・ダウンボタンを押して、使用するシャッター速度を設定します。(図15) アップ側を押すと高速になり、ダウン側を押すと低速になります。アップ・ダウンボタンを押し続けると連続して変わります。

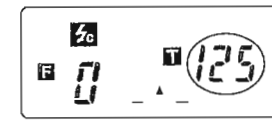


図15

参考 [定常光の場合]
● シャッター速度は60~1/8000秒の間で設定できます。
[フラッシュ光の場合]
● 同調するシャッター速度は1~1/500秒の間で設定でき1/500秒の次に1/75、1/80、1/90、1/100秒が設定できます。

5-7 シネコマ数(f/s)の設定

定常光モードでシャッター速度の1/8000秒の次に表示されます。設定したいコマ数を選んでください。(図16)

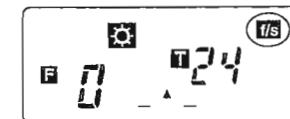


図16

参考 ● 設定シネコマ数は8、12、16、18、24、25、30、32、64、12です。コマ数はシャッター開角度180度の時の値が表示されています。
● この設定はシネカメラ(映画撮影用カメラ)の場合に使用いたします。

6. 定常光の測定

6-1 定常光測定モードの設定と測定

- ① モード切り替えボタンを押して、定常光測定モードに切り替えます。
- ② フィルム感度とシャッター速度をセットします。
- ③ 測定ボタンを押すと絞り値が表示されます。(図17)

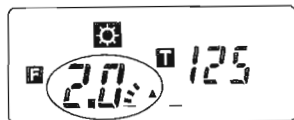


図17

参考

- 図17はシャッター速度1/125秒で絞りF 2.0+3/10絞りを表示しています。
- 定常光モードでは測定ボタンを押し続けると連続測定ができます。
- 測定後、フィルム感度ISOおよびシャッター速度Tの変換により測定値の演算が自動的に行われます。
- 測定範囲を外れた場合は、E.u (アンダーエラー)、E.o (オーバーエラー)が表示されます。(図18)(図19)
E.u表示の時はシャッター速度を遅くしてください。
E.o表示の時はシャッター速度を速くしてください。

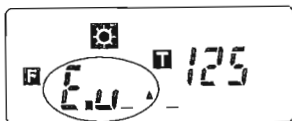


図18

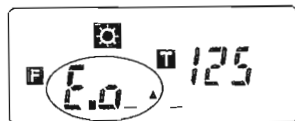


図19

6-2 EV値(露出値)測定

モード切り替えボタンを押して、EV値測定モードに切り替えます。測定ボタンを押すとEV値が表示されます。(図20)

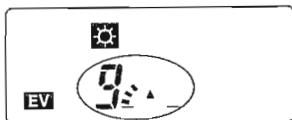


図20

参考

- EV値とはシャッター速度と絞り値で組み合わせられて露出される一定の光量を表わしたものです。
- ライトバリュウ方式のシャッター速度と絞りの組み合わせを採用しているカメラには、このEV値を読みとってセットすると便利です。

7. フラッシュ光・コード接続測定

7-1 コード接続測定モードの設定と測定

- ① モード切り替えボタンを押して、コード接続モードにします。(図21)
- ② フィルム感度とシャッター速度をセットします。

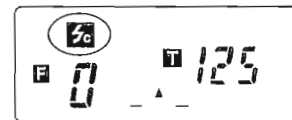


図21

注意

- 使用するカメラにセットしたシャッター速度をセットしてください。
- フラッシュバルブ光を測定するときは、同調範囲を確認してシャッター速度を設定してください。

- ③ 露出計のシンクローターミナルにシンクロコードを接続します。(図22)

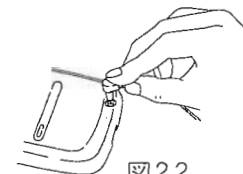


図22

注意

- シンクローターミナルにシンクロコードを接続するとき、また露出計の電源ボタンを操作した場合、フラッシュによっては発光する場合があります。

- ④ 測定ボタンを押すと、フラッシュが発光し絞り値が表示されます。(図23)

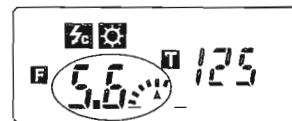


図23

注意

- 測定後、シャッター速度を変えると測定値は消え、絞り値は0になります。

参考

- シンクロコードを用いて測定する場合、フラッシュによっては発光しない場合があります。この場合はコードレス測定で測定してください。
- 測定後、フィルム感度を変更しても測定値の演算が自動的に行われます。
- 測定範囲を外れた場合は、E.u (アンダーエラー)、E.o (オーバーエラー)が表示されます。そのときは、光量の調整がシャッター速度を変えてください。

☆ シンクロコード(別売)

長さ5mのコードは3つのプラグを持ち、露出計とフラッシュ、カメラとフラッシュを同調させる事ができるので、撮影するときにコードを差し替える必要が無く大変便利です。また露出計側の接続端子はロック機構がついているので確実に接続することができます。



フラッシュ カメラ